日吉津村告示第30号

令和6年第2回日吉津村議会定例会を次のとおり招集する。

令和6年5月7日

日吉津村長 中 田 達 彦

- 1 日 時 令和6年6月3日 午前9時00分
 - 2 場 所 日吉津村議会議場
-

○開会日に応招した議員

齊 田 光 門	加 藤 修
江 田 加 代	長谷川 康 弘
前 田 昇	石 原 浩 明
河 中 博 子	橋 井 満 義
松 田 悦 郎	山 路 有

○応招しなかった議員

な し

第2回 日吉津村議会定例会会議録（第1日）

令和6年6月3日（月曜日）

議事日程（第1号）

令和6年6月3日 午前9時開会

- 日程第1 会議録署名議員の指名
- 日程第2 会期の決定について
- 日程第3 諸般の報告
- 日程第4 報告第4号 令和5年度鳥取県西伯郡日吉津村一般会計繰越明許費繰越計算書について
- 日程第5 報告第5号 令和5年度日吉津村下水道事業会計予算繰越報告について
- 日程第6 報告第6号 令和5年度株式会社ひえづ物産決算報告について
- 日程第7 報告第7号 長期継続契約について
- 日程第8 報告第8号 総務経済常任委員会の調査研究について
- 日程第9 報告第9号 教育民生常任委員会の調査研究について
- 日程第10 承認第1号 専決処分の承認を求めることについて（日吉津村税条例の一部を改正する条例）
- 日程第11 承認第2号 専決処分の承認を求めることについて（日吉津村国民健康保険税条例の一部を改正する条例）
- 日程第12 議案第22号 日吉津村複合施設設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例
- 日程第13 議案第23号 令和6年度鳥取県西伯郡日吉津村一般会計補正予算（第1回）
- 日程第14 議案第24号 令和6年度鳥取県西伯郡日吉津村国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第1回）

本日の会議に付した事件

- 日程第1 会議録署名議員の指名
- 日程第2 会期の決定について
- 日程第3 諸般の報告
- 日程第4 報告第4号 令和5年度鳥取県西伯郡日吉津村一般会計繰越明許費繰越計算書について
- 日程第5 報告第5号 令和5年度日吉津村下水道事業会計予算繰越報告について

- 日程第6 報告第6号 令和5年度株式会社ひえづ物産決算報告について
- 日程第7 報告第7号 長期継続契約について
- 日程第8 報告第8号 総務経済常任委員会の調査研究について
- 日程第9 報告第9号 教育民生常任委員会の調査研究について
- 日程第10 承認第1号 専決処分の承認を求めることについて（日吉津村税条例の一部を改正する条例）
- 日程第11 承認第2号 専決処分の承認を求めることについて（日吉津村国民健康保険税条例の一部を改正する条例）
- 日程第12 議案第22号 日吉津村複合施設設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例
- 日程第13 議案第23号 令和6年度鳥取県西伯郡日吉津村一般会計補正予算（第1回）
- 日程第14 議案第24号 令和6年度鳥取県西伯郡日吉津村国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第1回）

出席議員（10名）

1番 齊田光門	2番 加藤修
3番 江田加代	4番 長谷川康弘
5番 前田昇	6番 石原浩明
7番 河中博子	8番 橋井満義
9番 松田悦郎	10番 山路有

欠席議員（なし）

欠員（なし）

事務局出席職員職氏名

局長 里英樹 書記 森下 瞳

説明のため出席した者の職氏名

村長 中田達彦 総務課長 小原義人
総合政策課長 大武浩 住民課長 矢野孝志

福祉保健課長 橋 田 和 久 建設産業課長 福 井 真 一
教育長 井 田 博 之 教育次長 横 田 威 開
会計管理者 景 山 美 穂

午前 9 時 0 0 分開会

○議長（山路 有君） 皆さん、おはようございます。

ただいまから令和 6 年 6 月第 2 回日吉津村議会定例会初日、1 日目を開催します。

それでは、本会議に入りたいと思います。

ただいまの出席議員数は 1 0 名です。定足数に達していますので、令和 6 年第 2 回日吉津村議会定例会を開会します。

直ちに本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりです。

日程第 1 会議録署名議員の指名

○議長（山路 有君） 日程第 1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第 1 2 5 条の規定により、8 番、橋井満義議員、9 番、松田悦郎議員を指名します。

日程第 2 会期の決定について

○議長（山路 有君） 日程第 2、会期の決定についてを議題とします。

お諮りします。今期定例会の会期は、議会運営委員長から答申のあったとおり、本日から 6 月 1 4 日までの 1 2 日間とし、審議予定はお手元に配付のとおりであります。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山路 有君） 異議なしと認めます。したがって、会期は、本日から 6 月 1 4 日までの 1 2 日間、審議予定はお手元に配付のとおりと決定いたしました。

日程第 3 諸般の報告

○議長（山路 有君） 日程第 3、諸般の報告を行います。

議長の報告を行います。

説明員の報告、地方自治法第121条の規定により、村長並びに教育長に出席要求をし、村長、教育長以下担当課長が出席しております。

請願・陳情の付託報告、本日までに受理した請願陳情は、お手元に配付の請願・陳情文書表のとおり、会議規則第92条の規定により所管の常任委員会に付託しましたので報告します。なお、各陳情とも会期中の付託といたします。

出納検査報告、お手元に配付のとおり、地方自治法第235条の2第3項の規定により、監査委員から例月出納検査の結果報告がありました。検査資料は事務局に保管しておりますので、閲覧していただきたいと思ひます。

陳情の結果報告、3月定例会において採択となりました、食糧自給率向上を政府の法的義務とすることを求める陳情書につきましては、3月22日付で提出者に審査結果の通知をいたしました。

行事報告、3月定例会から本日まで、お手元に配付のとおりです。

次に、村長からの報告事項があれば、報告願ひます。

中田村長。

○村長（中田 達彦君） 令和6年第2回日吉津村議会定例会を招集いたしましたところ、議員の皆様へ御出席をいただきました。感謝を申し上げます。

開会に当たりまして、諸般の報告を申し上げます。

昨日、県消防学校におきまして開催された、鳥取県西部消防ポンプ操法大会、ポンプ車操法の部において、日吉津村消防団は見事優勝という成績を収められました。ありがとうございます。午前中まで雨が残り、滑りやすいコンディションの中での操法となりましたが、訓練の成果を遺憾なく発揮され、優勝という結果を収められましたことに心より敬意を表したいと思ひます。7月7日には県大会が開催されます。操法技術にさらに磨きをかけ、持ち前のチームワークで県大会にも臨んでいただきたいと思ひます。

また、5月25日には、国土交通省、鳥取県、県西部の市町村が主催で日野川総合水防演習が実施されました。齊藤国土交通大臣も見守られる中、日吉津村消防団も参加し、水害に備えた土のう積みの演習を行ったほか、消防や警察などによる救助訓練、インフラ関係機関による応急復旧訓練など、これから出水期を迎えるに当たり、関係機関合同で災害への備えを確認しました。

地域防災の関係では、昨年度も女性防災士が1名誕生し、現在27名となっております。本年度も防災士取得に係る補助を予定しており、自治会からの積極的な推薦をお願いしたいと思ひます。8月には防災士、自主防災組織及び村民の皆様を対象に、防災講演会を計画しています。1

月の能登半島地震を教訓に、そうした講演会の開催や防災訓練の実施など、改めて村民の皆様と一緒に防災について見直してまいりたいと考えております。

日吉津村防災行政無線機能強化工事につきましては、3月末に親局の更新を完了し、現行機と新型機での並行運用を開始しております。4月1日からは、防災無線受信アプリ、コスモキャストの運用を開始し、住民の皆様へ御活用をいただいているところであります。戸別受信機の更新につきましても、4月下旬から順次戸別訪問により更新を進めており、現在、おおむね9割程度の更新が完了しており、6月末には現行の電波を停波し、7月1日からは新型機のみでの運用となる予定としています。

4月7日には、第46回チューリップマラソンが開催をされました。村内外から参加いただく通常大会は実に5年ぶりです。当日は、1.4キロ、3キロ、4.8キロの3つのコースに合計756名の参加者があり、参加者の皆さんそれぞれがゴールを目指して自分に合ったペースで走られました。特に例年に増して家族連れや小学生の参加が目立ち、地域の皆さんがともに楽しんでおられる姿が印象的でした。今後も様々なイベント等を通じ、健康づくりや御参加の皆様の交流が図られることを期待しています。

なお、大会の運営に当たりましては、村民の皆様、各自治会からも多くのボランティアに御参加いただいただけでなく、様々な団体、グループにも御協力をいただきましたことを厚く御礼申し上げます。

日吉津小学校におきましては、年度末の人事異動で12名の新しい先生を迎えて新年度がスタートしています。児童は、3月に6年生42名が卒業し、4月には新たに37名の新入生が加わり、全校児童数は228名となっています。4月の24日、25日両日には、6年生の修学旅行がありました。児童たちは広島へ赴き、原爆に関する資料などに直接触れながら、戦争について深く考え、平和の大切さを学ぶことができました。5月25日には運動会が開催をされました。全校児童が4色に分かれ、他の学年の友達を大声で応援したり、協力して競技をしました。また、応援合戦では、6年生を中心に縦割りグループでつくり上げた応援を披露しました。全力で走り、大声を出して演技する児童の姿を見て、応援する大人も元気になる運動会となりました。

また、昨年度末に行われました人材育成交流事業では、8名の中学生をオーストラリアに派遣いたしました。多文化共生社会でありますオーストラリアでのホームステイ及び現地学校での授業体験は、生徒たちにとって大変有意義なものでありました。語学力の向上はもちろんのことですが、参加した生徒からは、様々な考え方を受け入れながら、自分の主張を正しく伝えることの大切さを学んだ、あるいは、事業に参加してからは、物事に積極的に挑戦できるようになった、

英語や人との関わり方を学んだ経験を生かして、今後、村に貢献できるように頑張りたいといった頼もしい感想が聞かれました。

このような事業は県内でも先進的なものであり、同様に派遣事業を行う自治体も増えてきています。費用面など課題もありますが、継続を望む声も多く届いていますので、事業の継続的な取組について、引き続き調査研究を続けていきたいと考えております。

こども園の保育室等増設工事につきましては、村道宮川北線の歩道を一部通行止めとし、4月より工事着手しております。地方創生総合戦略で掲げた待機児童ゼロを継続し、子供たちが伸び伸びと安心して遊べて、保護者の方々が安心して子育てできるよう、本年10月の供用開始を目指し、安全第一で施設整備を進めてまいります。

また、児童館では、従来100名程度であった児童数が、ミライトの開設以降、140名を超える登録となっております。そうした状況を踏まえ、今年度からは、小学校附属特別棟のまなびルームを活用した分館体制で事業を行っているところであります。従来のミライト児童館棟は1年生から4年生、まなびルームは5、6年生が活用し、放課後の居場所として生活習慣を身につけたり、仲間づくりや体験活動を行ったりしています。今後もまなびルームをはじめ、農業者トレーニングセンターやヴィレステひえづなど、村内施設も有効活用しながら、放課後の子供たちが伸び伸びと過ごせる環境づくりを継続してまいりたいと考えております。

次に、海浜エリアの活性化に関しまして、海浜運動公園の魅力化に向けて、PPP事業による官民連携方式の導入を検討するに当たり、本事業を適正かつ効果的に推進するため、PPPに求められる高度な専門知識に基づき、民間事業者と連携した場合の費用試算や、事業の基本計画、実施方針等の作成支援を受けるため、この4月にPPP推進事業アドバイザー業務公募型プロポーザルを実施し、5月27日の選定委員会において、公募事業者を優先交渉権者として選定いたしました。今後は、優先交渉権者との契約締結に向けた手続を進めてまいります。

旧うなばら荘につきましては、現在、施設所有者である民間事業者と西部広域行政管理組合、日吉津村で、施設の第三者への譲渡に向けた協議を進めているところであります。これまでに数十の事業者の方から関心を寄せていただき、内覧もいただいておりますが、今のところ具体的な提案にまでは至っていません。今後も、一日でも早く次の譲渡先が決まり、新しい施設が稼働できるよう、関係機関と協力して進めてまいりたいと考えております。

農業の関係で、今後、高齢化や人口減少の本格化により、農業者の減少や耕作放棄地が拡大し、地域の農地が適切に利用されなくなることが懸念される中、農地が利用されやすくなるよう、農地の集約化等に向けた取組を進めていくことが喫緊の課題とされています。このため、各市町村

におきましては、農業経営基盤強化促進法第19条に規定する地域計画を今年度末までに策定するとともに、その実現に向け、地域内外からの農地の受け手を幅広く確保しつつ、農地バンクを活用した農地の集約化を進めていくこととされています。

地域計画の策定までの大まかな流れにつきましては、これから10月頃にかけて協議の場を設け、幅広い関係者の参加の下、地域農業の将来の在り方や農業上の利用が行われる農用地等の区域、農用地の集積・集約化の方針など、地域計画に盛り込むべき事項について話し合いを行ってまいります。これと並行して、農地1筆ごとに10年後に誰が利用するのかを定める目標地図について、農地の出し手、受け手の意向を踏まえ、農業委員会で素案を作成し、地域の話合いを通じて、受け手ごとに集約が進むよう、必要な調整を行ってまいります。その後、11月中には、協議の結果を踏まえた地域計画の案を作成し、令和7年1月から2月にかけて地元説明会を実施するとともに、関係機関からの意見聴取など必要な手続を経た上、3月上旬には地域計画を決定、公告する予定としています。農業者の皆様、関係者の皆様との地域での話し合いを通じて作成する地域計画であります。皆様の御協力をお願い申し上げます。

国は、デフレ完全脱却のための総合経済対策に基づき、物価高により厳しい状況にある国民負担を軽減するため、令和6年度税制改正において、所得税、個人住民税の定額減税を実施され、令和6年6月から減税が開始されたところであります。あわせて、定額減税し切れないと見込まれる方には、1万円単位で差額を給付する調整給付を行うこととされています。調整給付につきましては、令和6年分所得税及び定額減税の実績額が確定した後に、当初給付額に不足があることが判明した場合は、追加での給付も行うこととしています。可能な限り速やかな支給が行えるよう、関係課で連携を図り、進めてまいります。

6月5日は環境の日であります。これは、1972年6月5日からストックホルムで開催された人間環境問題に関する最初の本格的な国連会議を記念して定められたものであります。本村でも、6月5日を環境の日と定め、毎年6月に実行委員会の皆様にお世話になり、環境の日のイベントを開催しています。今年は、来る6月8日土曜日にヴィレステひえづで、日中は米子南高校の皆さんに御指導いただき、廃油ろうそくづくりなどの環境工作教室の実施と、今年度は新たにごみに関する意見交換会を計画をしているところであります。地球環境や私たちの生活環境に関連するごみの問題について、皆さんと一緒に考えてみたいと思います。夜には恒例のキャンドルナイトも計画しております。環境のことを考えるきっかけとして、ぜひ多くの皆様にお越しいただきたいと考えております。

最後に、今議会では、初めての取組として、日曜議会の開催ということで、来る6月9日の日

曜日に一般質問が予定をされています。議員の成り手不足や議会の活性化など、様々な課題があるとされる中で、村民の皆様の議会への関心を高める取組を行っていただきますことに深い敬意を表しますとともに、執行部としてもしっかりと丁寧に答弁をしてみたいと考えております。多くの皆様がこの議場に足をお運びいただきますこと、そして、議会や村の行政への関心を高めていただきますことを期待し、諸般の報告といたします。

○議長（山路 有君） 以上で諸般の報告を終わります。

日程第4 報告第4号 から 日程第7 報告第7号

○議長（山路 有君） 日程第4、報告第4号、令和5年度鳥取県西伯郡日吉津村一般会計繰越明許費繰越計算書について、日程第5、報告第5号、令和5年度日吉津村下水道事業会計予算繰越報告について、日程第6、報告第6号、令和5年度株式会社ひえづ物産決算報告について、日程第7、報告第7号、長期継続契約について、以上4件については村長からの報告ですので一括議題とします。

村長の報告を求めます。

中田村長。

○村長（中田 達彦君） ただいま一括議題となりました報告第4号から報告第7号につきまして、御報告を申し上げます。

初めに、報告第4号、令和5年度鳥取県西伯郡日吉津村一般会計繰越明許費繰越計算書につきまして御報告申し上げます。地方自治法施行令第146条第2項の規定により、別紙計算書のとおり、情報システム等整備事業ほか6事業について、令和6年度に繰り越しましたので御報告を申し上げます。

次に、報告第5号、令和5年度日吉津村下水道事業会計予算繰越報告について御報告申し上げます。地方公営企業法第26条第1項の規定により、別紙計算書のとおり、建設改良費の移動脱 waters 購入事業について、令和6年度に繰り越しましたので、同条第3項の規定により御報告申し上げます。

次に、報告第6号、令和5年度株式会社ひえづ物産決算報告について、別紙のとおり、第25期の決算報告書を付しまして報告させていただきます。株式会社ひえづ物産は、御承知のとおり、賃料収入により経営をしているところでございますが、資料3ページの損益計算書のとおり、売上高は1,463万9,892円、販売費及び一般管理費では、1,563万1,683円で、営業外収益、営業外費用などを加え、当期は114万8,159円の純損失となりました。1店舗撤退され

たことによる売上高の減少や、新店舗入店に伴う修繕維持費の増加が損失の主な要因であります。

近年の営業状況につきましては、昨年3月末に1店撤退がありました。12月には新たな店舗が1店舗出店をされました。撤退された店舗は2区画分を使用されており、現在、1区画分が空きスペースとなっています。今後も空き店舗への入店に向けて新規参入事業者の誘致に努めてまいります。なお、詳細につきましては、決算報告書を御覧いただきまして、令和5年度の決算報告といたします。

次に、報告第7号、長期継続契約について、別紙報告書を付しまして報告をさせていただきます。日吉津村長期継続契約を締結することができる契約を定める条例第4条の規定に基づき、新たに長期継続契約を締結した案件をこのたびの議会に報告するものでございます。報告する案件は1件であります。日吉津村図書館で使用するIC機器、パソコン等の賃貸借契約でございます。契約の相手方は株式会社ケーオウエイ、契約金額は月額29万3,700円、契約期間は5年間です。詳細につきましては、添付しております一覧表を御覧いただきまして、長期継続契約の報告とさせていただきます。

以上で報告第4号から報告第7号までの報告とさせていただきます。

○議長（山路 有君） これから質疑を行います。質疑は各報告ごとに行います。

報告第4号の質疑を行います。質疑はありませんか。

前田議員。

○議員（5番 前田 昇君） 5番、前田です。この繰越しの計算書を頂いておりまして、各項目については、既に以前に説明をいただいているものもあるんですが、4項衛生費、住宅カーボンニュートラル推進支援事業、要するに繰越しとなっている内容について、もう少し御説明をいただいたらと思います。

それから、もう1点、土木費の鳥取うみなみロード走行環境整備事業、これについても繰越しになった経過と、この事業の内容について少し補足をいただければありがたいと思いますし、しかも、これについては、この土木費については、国県補助金と村の一般財源とありますが、一般財源のほうがちょっと少額になっておりまして、例えば、2分の1補助だと同額になると思うんですけど、その辺も少し補足いただいたらありがたいと思います。以上です。

○議長（山路 有君） 矢野住民課長。

○住民課長（矢野 孝志君） 前田議員の質問にお答えいたします。

繰越明許の住宅カーボンニュートラル推進支援事業の繰越しの件でございます。これは、県の補助金を活用して、家庭用の太陽光発電や蓄電池の補助をしているものでございますけども、そ

の受付を1月末までしております。その中で、申請があったものの2件につきましては、年度内で機器が入らないとか、そういった事情がありまして、年度内に完了しないということが分かりましたので、その2件分を繰り越しさせてもらって、その分をここに計上しているものでございます。以上です。

○議長（山路 有君） 福井建設産業課長。

○建設産業課長（福井 真一君） 前田議員の鳥取うみなみロード走行環境整備事業について説明させていただきます。この事業は、ナショナルサイクルルート認定に向けて、境港から鳥取の岩美町のほうまで自転車走行環境の整備を図る予定の事業でございます。

本村での主な内容は、村道日野川右岸堤線、日野川土手から、村道温泉線、淀江のほうに向かっていく、うなばら荘の前の道路ですね。こちらに路面標示を設置する事業でございます。これは令和5年度と令和6年度にかけて完成させる予定としております。この繰越しの内容なのですが、村道温泉線につきましては、2年前から舗装補修を行っておって、今後行う予定です。そのところに、補修をまだしてないところに路面標示を行いますと消してしまいますので、再度設置という非効率な事業になってしまいますので、今年度分の温泉線の舗装修繕箇所、場所は、県道の交差点、それから役場線の交差点、既に舗装修繕は終わっております。ここの交差点に路面標示が集中してございますので、ここの部分を5年度から6年度に繰越しをして、6年度、既に舗装工事終わりましたが、今後、その舗装の上に路面標示を行うという予定としております。そのほか、今年度事業で温泉線全体の路面標示を行う予定としております。

事業費の内訳ですが、この事業は、補助率、国庫補助率55%でございます。ただし、こちらの事業費の要望に対して十分な国費がついておりませんで、こういう計算ってというか、村費が若干少ないという金額になるんですけども、基本的には55%が国庫補助金ということになります。以上です。

○議長（山路 有君） 前田議員。

○議員（5番 前田 昇君） ありがとうございます。カーボンニュートラルのほう、説明を聞いたんですが、結局、太陽光ですか、蓄電池ですか、内容をちょっと、繰り越した事業の内容をちょっと具体的に教えていただけたらと思います。

○議長（山路 有君） 矢野住民課長。

○住民課長（矢野 孝志君） 前田議員の質問にお答えいたします。

2件あるんですけども、太陽光が主でございまして、1件分は蓄電池のほうも併せて申請ができますので、その分も入っているということでございます。以上です。

○議長（山路 有君） いいですか。

ほかにありませんか。

ないようですので、以上で質疑を終わります。

これから報告第5号の質疑を行います。質疑はありませんか。

〔質疑なし〕

○議長（山路 有君） 質疑はないようですので、以上で質疑を終わります。

これから報告第6号の質疑を行います。質疑はありませんか。

橋井議員。

○議員（8番 橋井 満義君） 8番、橋井です。ひえづ物産の決算報告について、4点ほど質疑をさせていただきたいと思います。

損益計算及び貸借、いろいろ出していただいた、その中の4ページの販売費及び一般管理費の内訳書についてお伺いをしたいと思います。5ページについてもなんですが、順を追っていきたくと思いますが、科目の順を追っていきますと、中段辺りから、再度、今までもあったんですけども、確認をしておきたいために質疑を求めるものでありますが、この給料手当48万、これは確認の意味を込めまして、6ページのこのたびの監査の監査立会人の何がしさんがおられるわけですが、この方にこの48万円、月額4万円を、これは充当されるものであったということで間違いがないかの確認、それがまず1点。

それから、次、その下の段の作業委託費、この物産館、ひえづ物産の、ここの作業管理委託は、たしかイオンの掃除をやられてる会社なんですけど、今、ADCという会社ですけど、イオンディライトコネクタだったと思いますが、ここに委託をしている金額が242万1,807円で、これが間違いがないかどうかの確認。そこの業者さん以外かも分かりませんので、まず、この金額がどのようなものであって、委託先がどこであるのかということの確認。

それから、3点目、その下から4段目のところではありますが、支払共益費、98万7,000円、これも、たしかここはイオンさんの大規模な下水処理施設に、そこに流されておるはずですよ、下水関係、処理水関係。これがイオンに行ってるもので間違いがないかどうか。

次、最後、この地代、514万8,765円。これは、一度ここの土地はイオンさんが地権者から借り上げをされて、それをひえづ物産が又借りをして、借りといいましょうか、またそこから借入をしてお支払いをしてるというものだったように記憶をしておりますが、それで間違いがないかなということを再度確認をしてみたいと思います。これ、年に一遍の報告しかないものですから、記憶が薄くなったらいけませんので、そのことについて、その4点をお示しいただきたい

というふうに思います。以上です。

○議長（山路 有君） 小原総務課長。

○総務課長（小原 義人君） 橋井議員の御質問にお答えいたします。

4点をいただきました。まず、1点目ですが、給料手当ですが、こちらは議員がおっしゃいますように、事務委託をしております方に、同じ方にお支払いをさせていただいております。月額4万円ということであります。

それから、2番目の修繕料でございますけれども、委託料ですね、作業委託料ですが、こちらはおっしゃいますように、イオンの関係の業者さんに掃除代ということでお支払いしておりますし、この中にもう一つ、セキュリティーの一応代金ということで、これも含まれております。

それから、3つ目の下水処理場につきましては、そのとおりでございます。

それから、4点目のほうの地代につきましては、おっしゃいますように、イオンさんにお支払いしてるものが年額444万円、そして、残りは村の土地もございますので、村の土地に約70万円ということでお支払いをしております。以上でございます。

○議長（山路 有君） 橋井議員。

○議員（8番 橋井 満義君） ということで、確認をいただきましてありがとうございます。この給料手当48万円は、先ほど申し上げた方に月額4万円で委託をしておるということ。それから、作業委託費の242万1,000円、これはイオンの清掃会社並びにセキュリティー会社に支払いをしている。そして、共益費について、98万7,000円、約100万円は、イオンの処理施設をお願いをしておりますので、そこに約100万円をお願いをして払っておる。そして、地代については、514万、約515万円のうちの、イオンに444万、それから、村に70万を支払いをしてるということであります。

それで、最後に、これは経営姿勢についてお伺いをしたいなと思っておりますが、これらの数字がここで出ております。1,500がここで合計額、それから、ここで、5ページを見ていただければ、先ほど村長からの答弁でもありました、今回は純損失が110万発生しております。ということは、赤字でマイナス110万が出たということでもありますので、経営的には、ここは何とかしていかなくちゃならないよということが出ておると。根拠の場合については、あそこの1店舗、南側のところの店舗が抜けてたんだけど、ラーメン屋さんが1店入っておられるということで、来年度の、次年度にはまたここが変わってくるというふうに思っておりますが、この点について、今後はこの考え方について、抜けていったり云々、それと、ずっとこれは過去に、16分の1ずつを村にこれを返していったという経緯があって、それがもう終わりましたよね。そ

れで、その部分は、今後の、あそこの建物は塩分を使いますから、相当傷みが激しい。今までもエアコン関係、建物の躯体部分で大分老朽化が進んでおるといことでありまして、それで、解体費の予備費蓄積部分があったと思うんですが、それらについて、これらの毎年マイナスが出た場合の対応、それから、今後のあの建物の償却についての考え方について、最後お伺いをして終わりたいと思います。

○議長（山路 有君） 小原総務課長。

○総務課長（小原 義人君） 橋井議員の御質問にお答えいたします。

本年度は、おっしゃいますように、100万ちょっとの赤字となっております。それで、12月にラーメン店が入ったことによりまして、今年度の試算をしますと、僅かばかりですけれども、今の状態でもプラスになるというふうには思っております。ただ、修繕料につきましては例年並みで見ているということでございます。ですので、やはり、先ほど村長も申し上げましたが、今まだ空いているスペースがありますので、なるべく早く空き店舗を埋めるように、新規参入事業者の方に入っていただきたいというふうに考えて、今一生懸命探しているところでございます。

それで、今後の方針ですけれども、一応30年の契約ということになっており、あと5年ほどとなりました。今、株主総会等で話し合っておりますのは、何とかまずは30年、今の状態で維持修繕をしながら進めていこうというふうに思います。それで、恐らく契約を更新ということになると思いますので、30年経過しましたら、今よりもちょっと大きな建物等も改修をしながら、今後も運営をしてまいりたいというふうに考えているところでございます。以上です。

○議員（8番 橋井 満義君） 終わります。

○議長（山路 有君） ほかに。

前田議員。

○議員（5番 前田 昇君） 5番、前田です。この監査報告書、以前から多少疑問を感じているんですけども、監査の実施概要の中に、なお、この監査において監査立会人は誰々でしたということで、お世話になっている方の名前があるんですが、そもそも、いわゆるひえづ物産の代表である中田達彦氏に監査委員が報告されるときに、ここに何か監査立会人の名前を記す意味合いってというのがいま一つよく分からないっていうのが正直あります。その辺の経緯を、ここに必要な意味合いを1点お聞きしたいのと、それから、長年、ひえづ物産を同じ方に、そういう事務処理等でしょうか、あるいは現場の管理でしょうか、そういったことをお願いをしているんですけども、この方がどうのこうのじゃないんですけど、やっぱり長くお一人の方にずっと維持いただくっていうのは、今後いろんな場面で問題があったりしたら困るなということで、あえて伺いま

すと、こういった仕事を、例えば税理士事務所に委託するっていうことは、現場として合うのか合わないのか、むしろ多額になるのかもしれませんが、そういった、そろそろその辺の管理に対する見直しをすべきだというように思うんです。

それから、もう一つは、職員の手でやるのは、一応、事業体ですのでどうかというふうには思いますが、一部は職員が対応するっていうことがあっても、法的には問題ないと思うんですけども、その辺、今後のひえづ物産の維持のための管理委託についての、見直していく、そろそろ時期もあるんじゃないかということで、その点の、この監査報告の記載の部分と、今後の管理についての2点、2点目は即答がしにくいかもしれませんが、ちょっと御答弁いただいたらと思います。

○議長（山路 有君） 中田村長。

○村長（中田 達彦君） 村長でございます。前田議員から御質問がありました。まず、この監査立会人の記載についてですけど、これは適切な記載であるというふうに認識をしています。特に不自然ということではないと思っています。

それから、同じ方がこの事務を長年やっていたというのを御指摘でありますけれども、議員のほうからは税理士事務所なりに委託はできないかというような御提案もいただいたわけですが、非常に、新たな入店者を探す等々、本当に一生懸命動いてくださっています。これまでの仕事の経験等からの人脈とかもありますし、また、現地に本当に積極的に足を運んで交渉したりというようなこともいただいているところでありまして、今回、新しくラーメン店、入店が決まったのも、この委託をしている方の積極的な動きによって誘致ができたというふうに考えているところであります。今後の体制につきましては都度考えていくということで申し上げさせていただきたいと思いますが、当面、現在のやり方を維持しながら、必要に応じてその辺りの進め方等も引き続き検討していくということになろうかと思います。以上でございます。

○議長（山路 有君） よろしいですか。

○議員（5番 前田 昇君） はい。

○議長（山路 有君） ほかにありませんか。

〔質疑なし〕

○議長（山路 有君） ないようですので、以上で質疑を終わります。

これから報告第7号の質疑を行います。質疑はありますか。

〔質疑なし〕

○議長（山路 有君） ないようですので、以上で質疑を終わります。

以上で報告第4号から7号を終わります。

日程第8 報告第8号

○議長（山路 有君） 日程第8、報告第8号、総務経済常任委員会の調査研究についてを議題とします。

総務経済常任委員長の報告を求めます。

橋井委員長。

○総務経済常任委員長（橋井 満義君） 総務経済常任委員長の橋井でございます。ただいま議長のほうからありましたとおり、日吉津村議会総務経済常任委員会における閉会中の調査報告について御説明申し上げます。

令和6年6月3日、総務経済常任委員長、橋井満義。調査目的、国道431号沿道区域の開発と海浜エリアの状況について。期日、本年、令和6年5月9日木曜日、午前9時より行っております。場所につきましては、役場委員会室及び現地に出向き、調査を行いました。出席者、私、そして、副委員長、前田副委員長、そして加藤委員、山路委員、そして、建設産業課より福井課長、地域振興課より大武課長及び松田係長に同席を願っております。調査概要としましては、国道431号沿いの沿道サービス業進出と、海浜公園エリアの活性化事業の進捗状況について実施いたしましたものであります。

本調査につきましては、前定例会におきましても、6年3月定例会においても同様の調査を行っております。重複する部分もあると思いますが、御了解いただきたいと思います。

まず、国道431号沿線北側の沿道サービス業は、現在、コインランドリーとラーメン店が出店され、当初は理髪店や自動車関連の事業も計画されておりました。その後、出店計画が滞り、不安の要因もあったわけではありますが、先頃から自動車関連物販や飲食店の出店が決まったようであります。これらについては、おいおい着工がなされるものと期待するところであります。これらの敷地につきましては、砕石が敷かれたままで舗装もされない状態が長く続き、地権者からの不安要因でもございました。特に農地関係、農業委員会等からも指摘が随分とあったものであります。今後は、未施工の部分もあり、事業の進捗状況を適正に報告をされて、議会にも願いたいということでございます。

それから、村道二本松日野川線以北の開発エリアはようやく着工が開始され、カインズホーム及び大黒天物産が計画をされております。土地造成と擁壁工事が急ピッチで行われておる状況であります。この区域の中には、住宅や農地が隣接し、地権者には十分な配慮をされ、施工に努め

られたいと考えるところであります。行政については、これらの支援を十分に果たされることをお願いをしたいと思います。

それから、海浜公園のPPP計画については、事業の進行状況を逐次報告されたいというふうにあります。先ほど村長からの報告もありましたとおり、5月27日にはこれらのプレゼンテーションの内容が委員会等で審議をされたということで、今後、これについては早急に御報告と内容を提示されたいと思います。

そして、これまで検討されてきた委員会や村民の意見を十二分に聴取をし、これらの事業執行については検討をされたいというふうに申し添えたいと思います。

以上、総務経済常任委員会からの報告であります。

○議長（山路 有君） これから報告第8号に対する質疑を行います。質疑はありませんか。

〔質疑なし〕

○議長（山路 有君） 質疑はないようですので、質疑を終わります。

これで報告第8号を終わります。

日程第9 報告第9号

○議長（山路 有君） 日程第9、報告第9号、教育民生常任委員会の調査研究についてを議題とします。

教育民生常任委員長の報告を求めます。

河中委員長。

○教育民生常任委員長（河中 博子君） 教育民生常任委員長の河中です。閉会中の継続調査について報告いたします。

報告第9号、令和6年6月3日、日吉津村議会議長、山路有様。教育民生常任委員長、河中博子。委員会調査報告書、本委員会に付託されました調査事件について、調査の結果を別紙のとおり、会議規則第77条の規定により報告いたします。

教育民生常任委員会、閉会中の調査報告書。調査日時、令和6年5月15日、朝10時30分から午後1時まで。場所、日吉津小学校。出席者、敬称を略します。江田加代、松田悦郎、長谷川康弘、石原浩明、河中博子、以上、教育民生常任委員5名と、議会事務局より里英樹事務局長、小学校から谷口俊則教頭と原秀樹学校栄養主任、教育委員会から陸浦昭裕主査に御出席いただきました。調査目的、学校給食について。

調査の概要。食事は命と健康を守るためだけではなく、食を通して多くの分野からいろいろな

ことを学ぶ食育の一環でもあります。今年2月、福岡県の小学校で、1年生がウズラの卵を喉に詰まらせ、亡くなるという事故が起きました。過去には、手洗いが不十分でノロウイルスによる集団食中毒が発生したこともあります。このように、食の安全に努力しながらも不祥事が起こり得ることから、より一層、給食には安全第一が求められます。細心の注意を払いながら取り組まれる学校栄養職員と給食職員の熱意と御苦労、その結果としての料理を感謝の心を持っておいしくいただくのが給食です。日吉津小学校ではどうか、試食を兼ね、現状を調査しました。

視察した日のメニューは、麻婆豆腐、シューマイ、野菜の昆布あえ、御飯と牛乳でした。食材は地産地消を心がけ、お米とキノコ類は年間を通じて日吉津産のものを、また、季節によって、白ネギ、大根、キュウリなども日吉津産のものが使われており、牛乳や豆腐、鶏肉、魚の切り身といった食材は、鳥取県産のものが多く使われていました。1日に作る食事は228食、これは生徒のみの数です。これを4人の調理師さんの手によって作られています。

給食を作る側として注意している点、給食時の児童の様子などを伺いました。

1、アレルギー問題、対応が必要な児童は15人、別メニューで対応している。2、給食時の事故防止について、食育の一環として、よくかんで食べることを教えている。3、衛生面、調理場の場合ですが、二次汚染のないように、手袋と床をぬらさないよう、雑菌処理には十分気をつけている。4、食べ残しについて、ほぼ完食である。5、人気メニューについて、特にこれといったことはないが、どの料理も完食する。最後に、物価高の現在、メニューを作る上で工夫や苦労することはありませんかの問いに対して、食品の値段のバランスを調整しながら何とかやっているということでした。つまり、食材が高かついた日の次の日は安くというふうには御苦労していらっしゃるようでした。

まとめといたしまして、現在の学校給食法では、健康の維持保全や食生活が自然の恩恵の上に成り立っていることなど、学校給食における学習の目標が書かれています。先般のウズラの卵やミニトマト、白玉だんごといった小さくて飲み込みやすい食材は、ややもすると事故を引き起こしやすく、それについて、日吉津小学校では、よくかんで食べることを食育の重要項目として徹底して教えているとのことでした。事故防止に限らず、よくかむことは食事の基本ですので、今後も継続して取り組んでいただきたいと思います。

食中毒を出さない、アレルギー対策などの安全面、決められた予算内でのメニューのやりくりなど、給食に関わる職員の御苦労を痛感し、日々の努力に感謝するとともに、改めて調理現場の人員確保が食の安全確保の観点からも必要だと感じました。アレルギー対策は命と健康の問題です。アレルギーの種類も多く、今後も増えることも予想されるため、職員の配置などしっかり対

応していただきたいと思います。

ところで、当日のメニューについて、上級生が校内放送で紹介していました。大事な食育の一環であり、よい習慣だと思いながら聞きました。なお、当日のメニュー、麻婆豆腐ほか、とてもおいしく、参加した委員全員完食いたしました。ちなみに、日吉津小学校の学校給食は、昭和36年6月、現在の校舎移転とともに始まっています。

以上で報告を終わります。

○議長（山路 有君） これから報告第9号に対する質疑を行います。質疑はありませんか。

〔質疑なし〕

○議長（山路 有君） 質疑がないようですので、質疑を終わります。

これで報告第9号を終わります。

日程第10 承認第1号 及び 日程第11 承認第2号

○議長（山路 有君） お諮りします。日程第10から第11までは専決処分に関する議案ですので、一括議題としたいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山路 有君） 異議なしと認めます。したがって、日程第10、承認第1号、専決処分の承認を求めることについて、内容としては、日吉津村税条例の一部を改正する条例、日程第11、承認第2号、専決処分の承認を求めることについて、内容として、日吉津村国民健康保険税条例の一部を改正する条例の2件を一括議題とします。

提案者から提案理由の説明を求めます。

中田村長。

○村長（中田 達彦君） ただいま一括議題となりました承認第1号から承認第2号につきまして、提案理由の説明を申し上げます。

初めに、承認第1号、日吉津村税条例の一部を改正する条例の専決処分について、提案理由を申し上げます。これは、地方税法等の一部を改正する法律などが令和6年3月30日に公布され、その一部が同年4月1日から施行されたことに伴い、地方自治法第179条第1項の規定により、令和6年3月30日を期日として専決処分を行ったものであります。主な改正内容につきましては、個人住民税の雑損控除について、令和6年能登半島地震に係る住宅・家財等の財産損失を対象とする改正を行うほか、令和6年度の個人住民税所得割から納税者、配偶者、扶養家族1人につき1万円を減税する改正などについて規定するものでございます。

次に、承認第2号、日吉津村国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分について提案理由を申し上げます。これは、地方税法施行令の一部を改正する政令が令和6年3月30日に公布され、同年4月1日から施行されたことに伴い、地方自治法179条第1項の規定により、令和6年3月30日を期日として専決処分を行ったものであります。

改正内容は、国民健康保険税の後期高齢者支援金分に関する基礎課税額の上限（限度額）を22万円から24万円に引き上げるもの。また、5割軽減及び2割軽減の対象となる世帯の所得基準額を引き上げることにより、軽減対象世帯の追加等、変更を行うものであります。

以上、承認第1号から承認第2号までの提案理由の説明とさせていただきますので、よろしく御審議、御承認賜りますようお願い申し上げます。

○議長（山路 有君） 以上で提案説明を終わります。

日程第12 議案第22号

○議長（山路 有君） 日程第12、議案第22号、日吉津村複合施設設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例を議題とします。

提案者から提案理由の説明を求めます。

中田村長。

○村長（中田 達彦君） ただいま議題となりました議案第22号、日吉津村複合施設設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について、提案理由を御説明申し上げます。

令和6年7月1日実施予定の機構改革に伴い、教育委員会事務局を役場庁舎からヴィレステひえづに移転するため、構成、管理及び業務について見直しを行うものであります。

構成に日吉津村教育委員会事務局を追加し、管理及び業務のうち、生涯学習及びコミュニティ活動の推進に関する業務、図書館法に規定する図書館業務に関する業務及びヴィレステひえづ運営審議会の会議運営に関する業務を教育委員会が行うことに改正するものであります。

以上、議案第22号の提案理由の説明とさせていただきますので、よろしく御審議、御承認賜りますようお願い申し上げます。

○議長（山路 有君） 以上で議案第22号の提案説明を終わります。

日程第13 議案第23号 及び 日程第14 議案第24号

○議長（山路 有君） お諮りします。日程第13から第14までは補正予算に関する議案ですので、一括議題としたいと思っております。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山路 有君） 異議なしと認めます。したがって、日程第13、議案第23号、令和6年度鳥取県西伯郡日吉津村一般会計補正予算（第1回）、日程第14、議案第24号、令和6年度鳥取県西伯郡日吉津村国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第1回）の2件を一括議題とします。

提案者から提案理由の説明を求めます。

中田村長。

○村長（中田 達彦君） ただいま一括議題となりました議案第23号から議案第24号までの補正予算についての提案理由の御説明を申し上げます。

初めに、議案第23号、令和6年度鳥取県西伯郡日吉津村一般会計補正予算（第1回）ですが、歳入歳出それぞれ2,131万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ27億9,280万9,000円とするものであります。

歳出から主なものを申し上げます。初めに、7ページを御覧ください。第2款総務費、第1項総務管理費、第4目財産管理費に429万円を計上しておりますが、これはヴィレステひえづの建設当初の工事に入れた高圧ケーブルの絶縁診断を行ったところ、停電のリスクが高いと判断されたため、高圧ケーブルの更新工事を行うための増額でございます。同款同項、第5目企画費に800万円を計上しておりますが、これは、地方創生支援マネージャーとして、第三者の視点で本村の魅力を再発見し、本村のPR等を行ってもらうための業務委託に伴う増額であります。

次に、9ページを御覧ください。第3款民生費、第2項児童福祉費、第2目児童措置費に250万8,000円を計上しておりますが、これは児童手当制度改正により、10月以降の支給対象が拡充され、支給回数も変更されるためのシステム改修の電算処理委託料を増額するものでございます。

次に、10ページを御覧ください。第5款農林水産業費、第1項農業費、第3目農業振興費に80万円を計上しておりますが、これは、今年越冬したイネカメムシが出穂時期に大きな被害をもたらす懸念があることから、防除作業に対して補助を行うための増額でございます。そのほか、4月の人事異動等に伴う人件費の補正を行っております。

続いて、歳入について申し上げますので、5ページを御覧ください。第14款国庫支出金、第2項国庫補助金、第2目民生費国庫補助金に250万8,000円を計上しておりますが、これは歳出で御説明いたしました児童手当制度改正によるシステム改修への補助金の増額によるものでございます。その他、全体につきましては、財政調整基金繰入金1,792万4,000円で調整を

しております。

次に、議案第24号、令和6年度鳥取県西伯郡日吉津村国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第1回）でございますが、歳入歳出それぞれ290万円を追加し、歳入歳出それぞれ4億214万円とするものでございます。

歳出の主なものを御説明申し上げますので、5ページを御覧ください。第1款総務費、第1項総務管理費、第1目一般管理費に241万9,000円を増額しておりますが、これはマイナンバーカードと健康保険証の一体化に向けたシステム改修等の電算処理委託料が主なものでございます。

続いて、歳入について、4ページを御覧ください。第3款県支出金、第1項県補助金、第1目保険給付費等交付金に240万1,000円の増額を計上しておりますが、これは歳出で御説明申し上げました電算処理委託料などへの費用に対する特別交付金の増額によるものでございます。

以上、議案第23号から議案第24号までの提案理由の説明とさせていただきますので、よろしく御審議、御承認賜りますようお願い申し上げます。

○議長（山路 有君） 以上で議案第23号から第24号までの提案説明を終わります。

○議長（山路 有君） 以上で本日の議事日程は全部終了いたしました。

次回の本会議は、6月5日午前9時から議案質疑を行いますので、本議場に御参集ください。

本日はこれをもって散会いたします。御苦労さまでした。

午前10時17分散会